

2024年度 事業報告書

自：2024年 1月 1日
至：2024年12月31日

公益財団法人 日本国際医学協会

1. 理事会・評議員会開催

第1回理事会	2024年 2月 1日 (木)	Zoomミーティング
第1回評議員会	2024年 2月15日 (木)	Zoomミーティング
第2回理事会	2024年 7月18日 (木)	書面決議
第3回理事会	2024年12月 5日 (木)	会場：南国酒家

2. 国際治療談話会例会開催

当財団の起源である医学談話会は、医師生涯教育の先駆けで、大正14年3月10日に発足し、昭和30年9月以降は国際治療談話会例会の名のもと既に460回以上開催されている。本例会はメインテーマのもと各専門家にそれぞれの領域の最新知見を講演していただいている。創立者石橋長英は、当時すでに専門別に細分化されつつある医学を統合する必要性を感じ、基礎医学と臨床医学の縦の連係と、臨床各科の横の連係の双方から学習することを目的とした。

さらに、医療に携わる人は病める人と向き合う上で、医歯薬以外の幅広い見識が求められるという創立者の理念に基づいて、昭和43年（第91回例会）から始まった医歯薬界以外の名士による「感想」は、当財団独自の講演であり全人的医療の推進に役立っている。国際治療談話会は医師のみならず医療関係者に対して、生涯にわたる総合医学教育の場として定着している。

今年度の開催形式は、前年度同様に、1, 5, 9月はZoom Webinarを使用したWEB講演、3, 7月はリアルとWEB両方のハイブリッド形式で開催した。なお、リアル講演はハイブリッドに適した設備の整った紀尾井フォーラムにて開催した。

今年度例会の内容は以下の通りである。

2024年国際治療談話会例会一覧

(1) 第462回 国際治療談話会 例会

日 時 2024年1月18日 (木) 形 式 WEB講演

座 長 市橋 光

テーマ 治る瞬間を見るー超音波検査の素晴らしさー

＝小児腸重積症の超音波下整復の実際

地域医療機能推進機構 徳山中央病院

健康管理センター/小児科 健康管理センター長

内田正志 先生

＝治る瞬間を見るー超音波検査の素晴らしさー

東京女子医科大学八千代医療センター 整形外科

助教 橋田綾菜 先生

感 想＝国際情勢を客観的に分析する方法

～国際関係論からのアプローチ～

日本医療科学大学 保健医療学部

准教授 天野修司 先生

出席者 56名

(2) 第463回 国際治療談話会 例会

日 時 2024年3月21日 (木)

形 式 ハイブリッド講演、会場 紀尾井フォーラム

座 長 伊藤公一

テーマ 副甲状腺疾患の最新診療

＝腎性副甲状腺機能亢進症への外科的治療

藤田医科大学 医学部 内分泌外科

教授 日比八束 先生

＝原発性副甲状腺機能亢進症に対する手術加療について

伊藤病院 外科医長 友田智哲 先生

感 想＝がん教育の現場における子宮頸がんとHPVワクチン啓発の最前線

一般社団法人シンクパール 代表理事

一般社団法人PHR普及推進協議会 理事

難波美智代 先生

出席者 75名 (内、会場：15, Web:60)

(3) 第464回 国際治療談話会 例会

日 時 2024年5月23日 (木) 形 式 W E B 講演

座 長 炭山和毅

テーマ 内視鏡領域における産学連携 展望と本邦の課題

＝医療AIの第一線 ～大学発スタートアップの挑戦～

エルピクセル株式会社 ファウンダー 島原佑基 先生

＝軟性内視鏡関連機器の開発：外科医の目線

大阪大学大学院医学系研究科次世代内視鏡治療学

教授 中島清一 先生

感 想＝様変わりし続ける企業を目指して

～挑戦・継続が叶えた医療分野参入～

株式会社 オクムラ 代表取締役社長 田中寛人 先生

出席者 65名

(4) 第465回 国際治療談話会例会

日 時 2024年7月18日 (木)

形 式 ハイブリッド講演、会場 紀尾井フォーラム

座 長 近藤太郎

テーマ 肥満症アップデート

＝肥満と身体活動・座位行動

慶應義塾大学スポーツ医学研究センター

大学院健康マネジメント研究科 教授 小熊祐子 先生

＝肥満症診療 Update

千葉大学 学長 横手 幸太郎 先生

感想＝健康寿命延伸に資する住まいと住まい方

慶應義塾大学名誉教授

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター 理事長

伊香賀俊治 先生

出席者 78名（内、会場：12名，WEB：66名）

(5) 第466回 国際治療談話会例会

日 時 2024年9月19日（木）

座 長 永井 良三

形 式 WEB講演

テーマ 医薬品／医療機器承認の迅速化

＝新薬審査を巡る最近の話題 - ドラッグロス対応など -

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課 課長

中井清人 先生

＝医療機器承認審査の現状について

厚生労働省医薬局医療機器審査管理課

医療機器審査管理課長 高江 慎一 先生

感想＝2040年に向けた医療の姿

多摩大学 医療・介護ソリューション研究所

客員教授 吉田 学 先生

出席者 58名

3. 国際治療談話会総会開催

本総会は昭和36年より毎年1回11月に開催し、例会同様に総合医学教育を実践するだけでなく、医学を通じた国際交流に寄与するため、随時海外の医学者を招待し最新知見を取り上げている。総会においても医歯薬以外の名士による「感想」講演があり、今年度の開催形式は、前年度同様に、WEBと両方のハイブリッド形式で紀尾井フォーラムにて開催した。

今年度総会は以下の内容であった。

第64回国際治療談話会総会

日 時 2024年11月21日（木）

座 長 石橋 健一

形 式 ハイブリッド講演、会 場 紀尾井フォーラム

テーマ AIによる未来の医療

＝内閣府SIPプロジェクトにおける医療AI研究

自治医科大学 学長、日本国際医学協会 理事

永井 良三 先生

＝医療の未来を形作るマルチモーダルAIの力

東京大学医学部附属病院循環器内科 特任講師

小寺 聡 先生

＝AI診療支援によってもたらされる医療の未来

株式会社プレシジョン 代表取締役 佐藤 寿彦 先生

感想＝株式市場からみたAIの未来

マネックスグループ(株) 専門役員

沖縄科学技術大学院大学 理事

イエスパー・コール先生

出席者 167名（内、会場：31名、WEB：136名）

4. 国際医学交流

医師生涯教育に並んで当財団の主要な事業に国際医学交流がある。国際医学交流は伝統的にドイツとの間で盛んに行われ、過去に多くの医師や研究者が当財団を通じて交流を果たしてきた。また、これらの交流は市民まで広がり、栃木県の下野（旧 石橋町）とディーツヘルツタール（旧 シュタインブリュッケン）、群馬県の草津と日本近代医学の父 ベルツ博士生誕の地ビーティヒハイムビッシンゲンのように市姉妹都市締結にまで至った歴史がある。

近年、コロナ禍で国際医学交流は滞っていたが、報告事項のように少しずつ交流機会が増え、当協会創立100周年に向けて充実を図った。

5. 会報(International Medical News)発行

インターナショナル・メディカルニュース（IMN）を隔月に発行した。

本誌は例会並びに総会講演抄録の和英両文からなり、当協会ホームページから随時、閲覧できダウンロードも可能である。

わが国の医学医療の現状を紹介すると共に、国際医学交流に活用され今年度は下記の通りに発行した。

インターナショナル・メディカル・ニュース（IMN）

第521号（2023. 11. 16総会）～第526号（2024. 9. 19例会）

6. 報告事項

(1) 石橋理事長

【ドイツ大使夫妻との親睦ゴルフ】

日時：2024年1月8日（月） 場所：小金井カントリークラブ

【駐日ドイツ連邦共和国大使クレメンス・フォン・ゲッツェ主催観桜会】

日時：2024年3月28日（木） 場所：ドイツ連邦共和国大使公邸

【NRW.Global Business Japan 炉端会議：Creating Success Stories - Innovation and Growth - Germany and Japan in Challenging Times】

日時：2024年6月27日（木） 場所：東京アメリカンクラブ

【駐日ドイツ連邦共和国クレメンス・フォン・ゲッツェ駐日大使とゾニヤ・ フォン・ゲッツェ夫人の送別レセプション】

日時：2024年7月10日（水） 場所：ドイツ連邦共和国大使公邸

【ドイツ統一記念日レセプション】

日時：2024年10月2日（水） 場所：ドイツ連邦共和国大使公邸

【次期駐日ドイツ連邦共和国大使 ペトラ・ジグムントと シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州首相 ダニエル・ギュンター共催の 立食レセプション】

日時：2024年10月10日（木） 場所：ドイツ連邦共和国大使公邸

【第61回ベルツ賞贈呈式】

日時：2024年11月28日（木） 場所：ドイツ連邦共和国大使公邸

【武見セミナー2024】

日時：2024年12月26日（木） 場所：東京プリンスホテル

(2) 伊藤公一常務理事

記載報告なし

(3) 近藤太郎常務理事

記載報告なし